

# 2023 年 世界疾病負擔研究

2023 年 GBD 研究結果



Institute for Health  
Metrics and Evaluation



# 2023 年 世界疾病負担研究

2023 年 GBD 研究結果

本冊子は、ゲイツ財団から中核資金の提供を受け、保健指標評価研究所（IHME）が作成したものです。表明されている内容は著者らの見解です。本書の内容は、非営利目的で使用され、内容が変更されず、IHME を出典として完全に明記する場合に限り、全部または一部を複製または再配布することができます。

本書にはクリエイティブ・コモンズの「表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際」ライセンスが適用されます。本ライセンスのコピーは <https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/> からご覧いただけます。これらのライセンス制限を超える使用については、IHME Global Engagement ([engage@healthdata.org](mailto:engage@healthdata.org)) までご連絡ください。

引用：保健指標評価研究所 (IHME)。2023 年世界疾病負担研究：  
2023 年 GBD 研究結果。Seattle, WA: IHME, 2025.

Institute for Health Metrics and Evaluation  
3980 15th Ave NE  
Seattle WA 98195  
USA  
[www.healthdata.org](http://www.healthdata.org)

本報告書のコピーのご依頼は、IHME まで  
ご連絡ください：  
電話：+1-206-897-2800  
Fax：+1-206-897-2899  
メール：[engage@healthdata.org](mailto:engage@healthdata.org)

© 2025 Institute for Health Metrics and Evaluation

# Contents

- 5** はじめに
- 7** 用語集
- 8** 新型コロナウイルス流行以降、世界の健康は回復するも多くの地域の人々が早期死亡
- 10** 新型コロナウイルス流行からの回復期に、一部の地域では死亡率が上昇
- 12** 世界における感染症対策は急速な前進を遂げたものの、糖尿病、精神疾患、および肥満／過体重の問題が深刻化
- 15** 2023 年 GBD 研究のリソース



# はじめに

**疾病、傷害、およびリスク要因に関する世界疾病負担（GBD）の最新研究 - 2023 年までの更新版**は、新型コロナウイルスパンデミック以降の世界における健康に関する、包括的な全体像を提供するものです。平均余命は、多くの国でパンデミック以前の水準まで回復しました。また、コミュニティにおける協働により、伝染性疾患に対する対策や新生児の生存率向上に関する著しい進歩がみられました。しかしながら、こうした改善にもかかわらず、新生児の障害、下気道感染症、および下痢性疾患は、世界における健康損失原因の上位 10 位に含まれています。これらの疾病に対する闘いは、終わりには程遠く、保健分野への開発援助削減が、これらの分野での各国の成功を危うくしています。

非伝染性疾患は、資源の乏しい環境では特に深刻化する課題です。例えば循環器疾患に関しては、一部の国では他国よりも人々が平均 30 年も早期に死亡しており、資源や対策の不均衡が明らかになっています。リスク要因である高血圧、大気汚染、喫煙、高血糖、および肥満／過体重〔体格指数（BMI）高値〕などに焦点を当てることは、非伝染性疾患による早期死亡や健康損失を予防するために極めて重要です。

リスク要因に関しては、本研究で追跡した 88 の要因に取り組むことで、毎年全世界で失われる健康年数の最大半分を回避できることが、GBD 研究者によって明らかにされました。朗報として、本研究では 2010 年から 2023 年の間に、上位 10 のリスク要因のうち 8 つの要因による健康損失が減少したことが示唆されています。同時に、高血糖および高 BMI の 2 つの主要リスク要因による健康損失は、この期間に増加しました。

GBD 研究で明らかになった様々な疾病、傷害、リスク要因に直面した場合、人々はどのように向き合い、そしてリーダーたちはどのように対応すべきでしょうか。新型コロナウイルスパンデミック中には甚大な生命損失があったものの、過去 30 年間の健康に関する動向から、グローバルコミュニティが協働することで、大きな脅威に対処できることが示されています。困難による後退があっても、人々が健康で長生きすることは実現可能なのです。

---



# 用語集

---

**障害調整生存年数  
(Disability-adjusted life years : DALY)**

早期死亡および障害により失われた健康年数。DALY は、早期死亡により失われた年数 (years of life lost : YLL) と、障害を持ちながら生存した年数 (years lived with disability : YLD) の和。

---

**平均余命**

現在の年齢に基づき、予測される生存年数。GBD では、ある年齢層 (例えば 50 ~ 54 歳) の平均余命は、その年齢層の初年 (50 歳) から決定されます。

---

**リスク要因**

潜在的に修正可能な、疾患または傷害の原因。

---

**社会人口統計学的特性指数  
(Socio-demographic Index : SDI)**

国や地域が開発段階のどこに位置するかを示す、要約指標。SDI は 0 から 1 のスケールで示され、GBD 研究で対象となるすべての地域における 1 人当たりの所得、平均教育水準、および出生率の順位の複合平均。

---

**地域区分**

死因パターンに基づいて国をグループ化した、世界の 7 つの地域：

- 中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ、および中央アジア
  - 高所得
  - ラテンアメリカおよびカリブ海地域
  - 北アフリカおよび中東
  - 南アジア
  - 東南アジア、東アジア、およびオセアニア
  - サハラ以南アフリカ
- 

**障害生存年数  
(Years lived with disability : YLD)**

短期または長期の健康損失を伴いながら生存した年数。

---

**損失生存年数  
(Years of life lost : YLL)**

早期死亡により失った年数。

---

# 新型コロナウイルス流行以降、世界の健康は回復するも多くの地域の人々が早期死亡

## ハイライト

1,800 万人が死亡した新型コロナウイルス感染症は、2021 年の死因第 1 位から 2023 年には死因第 20 位へと順位を下げました。

非伝染性疾患（特に循環器疾患およびがん）による年齢調整死亡率は、社会人口統計学的特性指数が低い地域<sup>1</sup>、中でもサハラ以南アフリカ<sup>2</sup>の一部で最も高いことが示されています。

特に、資源が最も少ない国の多くでは、非伝染性疾患の予防と治療へのアクセスを改善する必要があります。

<sup>1</sup> 社会人口統計学的特性指数は、所得、教育、および出生率を統合した複合的指標

<sup>2</sup> 10 万人あたりの年齢標準化死亡数として評価

## 本研究の新たな特徴

55,761 のデータソースが含まれました。

研究者らは、70 歳未満で死亡する確率や、300 近くの異なる原因による平均死亡年齢などを含む、新たな指標を開発しました。

新型コロナウイルス流行以降の、全世界の健康に関する最も包括的な分析が行われました。

新型コロナウイルス感染症は、2019 年から 2023 年にかけて 1,800 万人の命を奪いましたが、2023 年には主要な死因ではなくなりました。

## 2021 年および 2023 年における世界の主要死因の比較（年齢調整）<sup>3</sup>

2021年順位	2023年順位
1 新型コロナウイルス感染症	20 新型コロナウイルス感染症
2 虚血性心疾患	1 虚血性心疾患
3 脳卒中	2 脳卒中
4 COPD*	3 COPD*
5 下気道感染症	4 下気道感染症
6 新生児障害	5 新生児障害
7 アルツハイマー病	6 アルツハイマー病
8 糖尿病	7 肺がん
9 肺がん	8 糖尿病
10 慢性腎臓病	9 慢性腎臓病
	10 高血圧性心疾患

新型コロナウイルス感染症は世界の順位で1位から20位に下がりました。

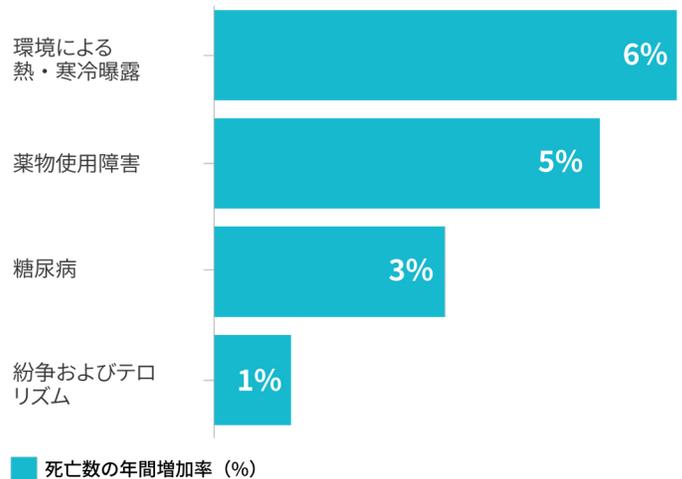
- 伝染性疾患、母体疾患、新生児疾患、および栄養疾患
- 非伝染性疾患

<sup>3</sup> すべての性別における、10 万人あたりの年齢標準化死亡数

\* 慢性閉塞性肺疾患

糖尿病、薬物使用障害、暴力、および熱波は、人々の健康への、急速に高まる脅威となっています。

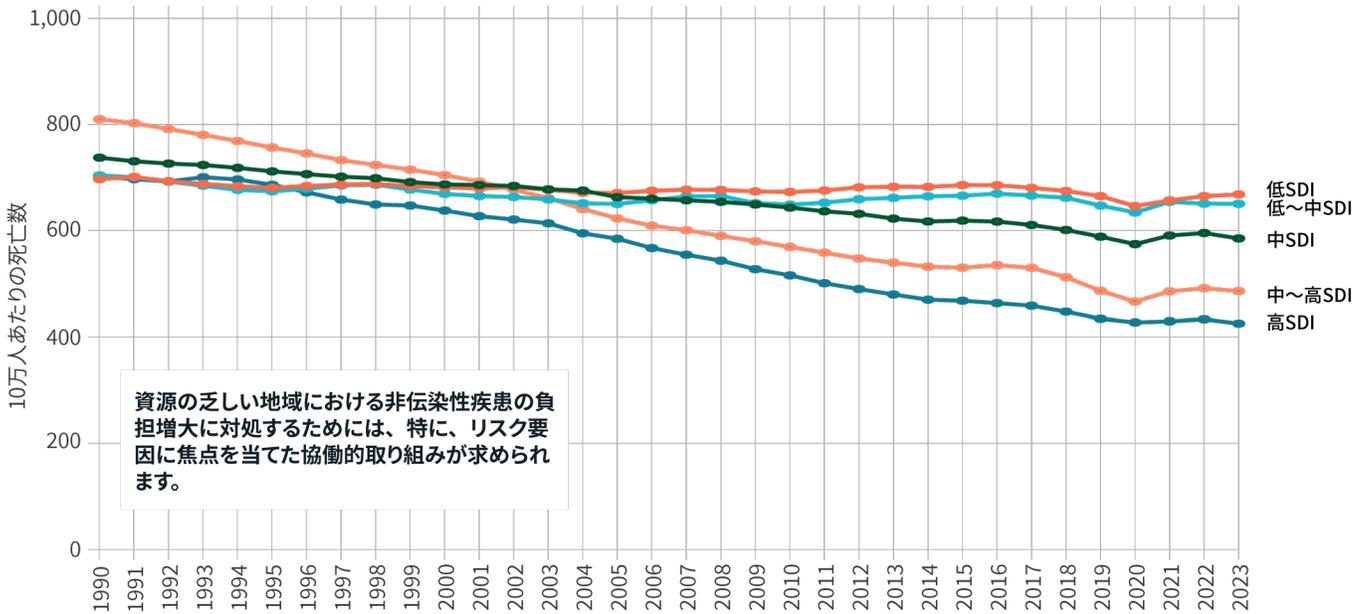
## 2021 年から 2023 年における、特定の原因による死亡数の年間増加率



これらの課題に取り組むためには、公衆衛生、すべての人への高質医療、および個別化された社会経済政策に対する投資が必要となります。

社会人口統計学的特性指数（SDI）が高い地域では、非伝染性疾患による死亡率は減少しているものの、低 SDI 地域では依然として高いままです。

### 1990～2023年におけるSDI別の非伝染性疾患による（年齢調整）死亡率<sup>4</sup>



<sup>4</sup>すべての性別における、10万人あたりの年齢標準化死亡率

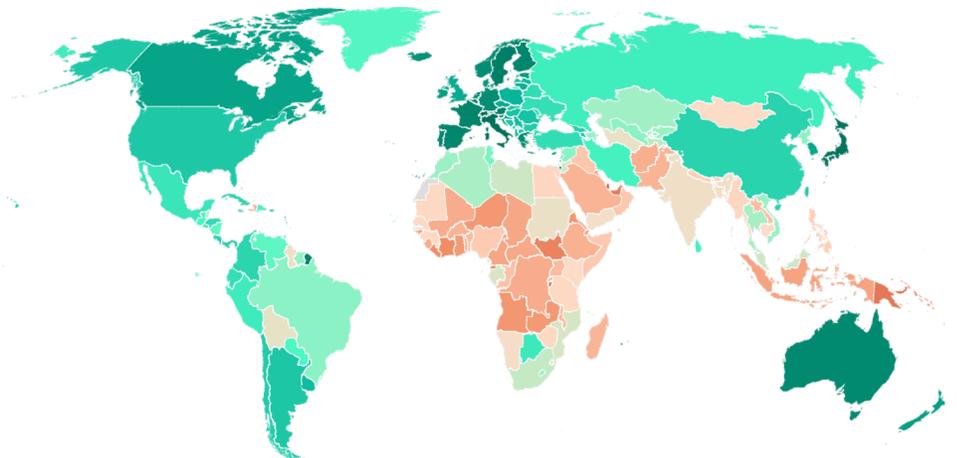
循環器疾患や他の非伝染性疾患による早期死亡を削減するためには、予防、診断、治療を強化する必要があります。これらの疾患による平均死亡年齢は、国によって大きく異なります。

### 循環器疾患による平均死亡年齢（2023年）

循環器疾患による平均死亡年齢



循環器疾患による死亡時の平均年齢に関しては、国によって30年近くもの差があり、資源と対策の不均衡を浮き彫りにしています。



# 新型コロナウイルス流行からの回復期に、一部の地域では死亡率が上昇

## ハイライト

平均余命と死亡率は、新型コロナウイルスパンデミック以前の水準にほぼ回復しました。

小児、思春期・青年期、および若年成人の死亡率は、東ヨーロッパおよび高所得北米地域を除くほとんどの地域で減少しています。

新たなデータおよび方法により、サハラ以南アフリカの女性の死亡率は、前回の報告よりも高いことが明らかになりました。

## 本研究の新たな特徴

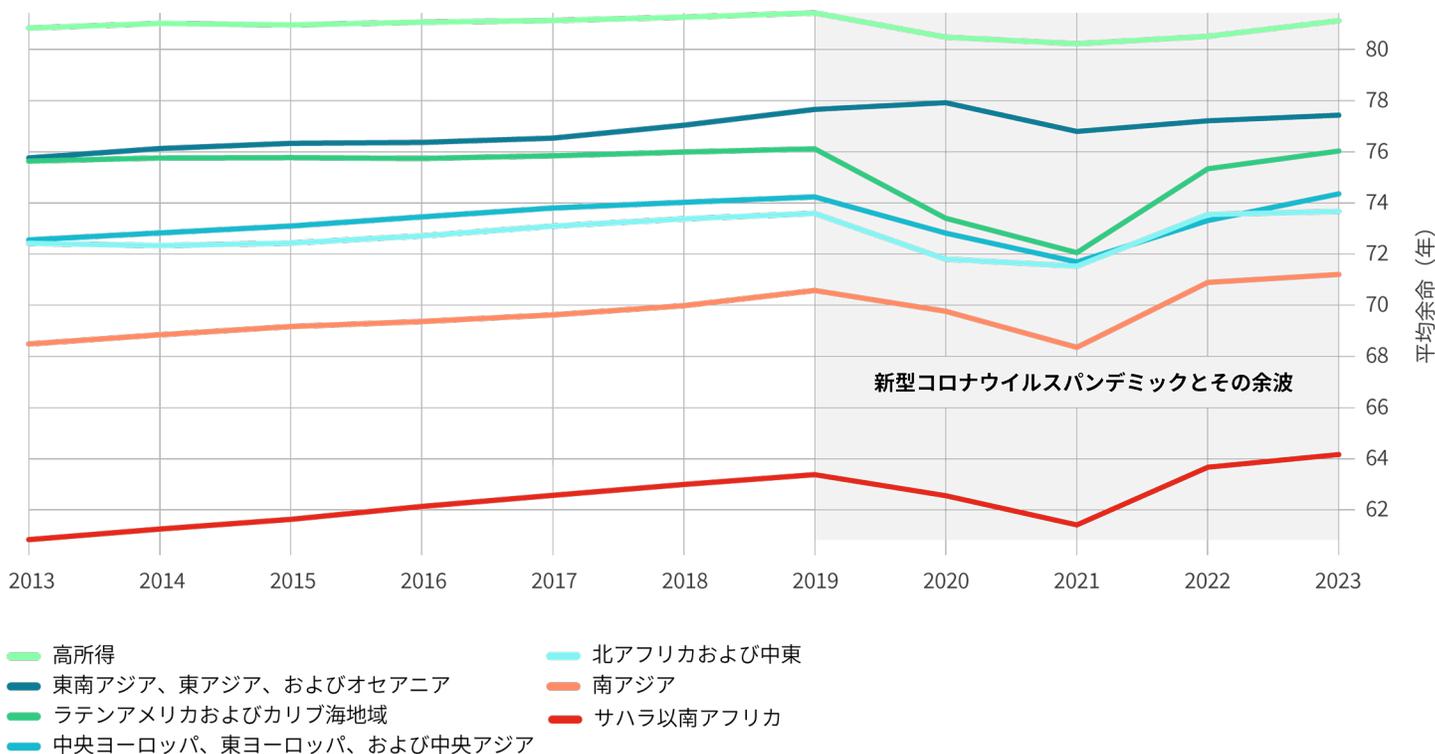
新たに改良された方法により、これまでにない正確な推定が得られました。

人口動態記録、国勢調査、各種調査を含む、24,000 を超えるデータソースが使用されました。

分析の向上により、サハラ以南アフリカ諸国の死亡率に関する新たな洞察が明らかになりました。

平均余命は、3分の2の国々で、パンデミック以前の水準まで回復しています。

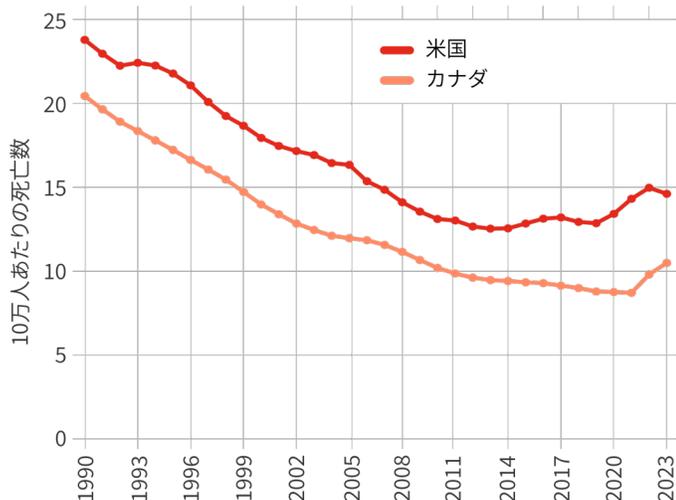
## GBD 地域区分における平均余命 (2013 ~ 2023 年)<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 図は、すべての性別での出生時における平均余命を示します。

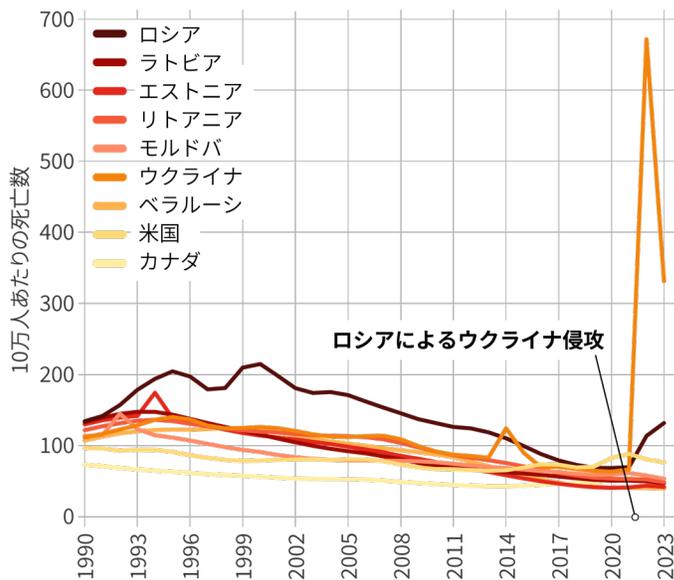
北米および東ヨーロッパの一部の国において、小児および若者の死亡率が懸念されるレベルで増加しています。

### 米国およびカナダにおける5～14歳の小児の死亡率（10万人あたりの死亡数）（1990～2023年）



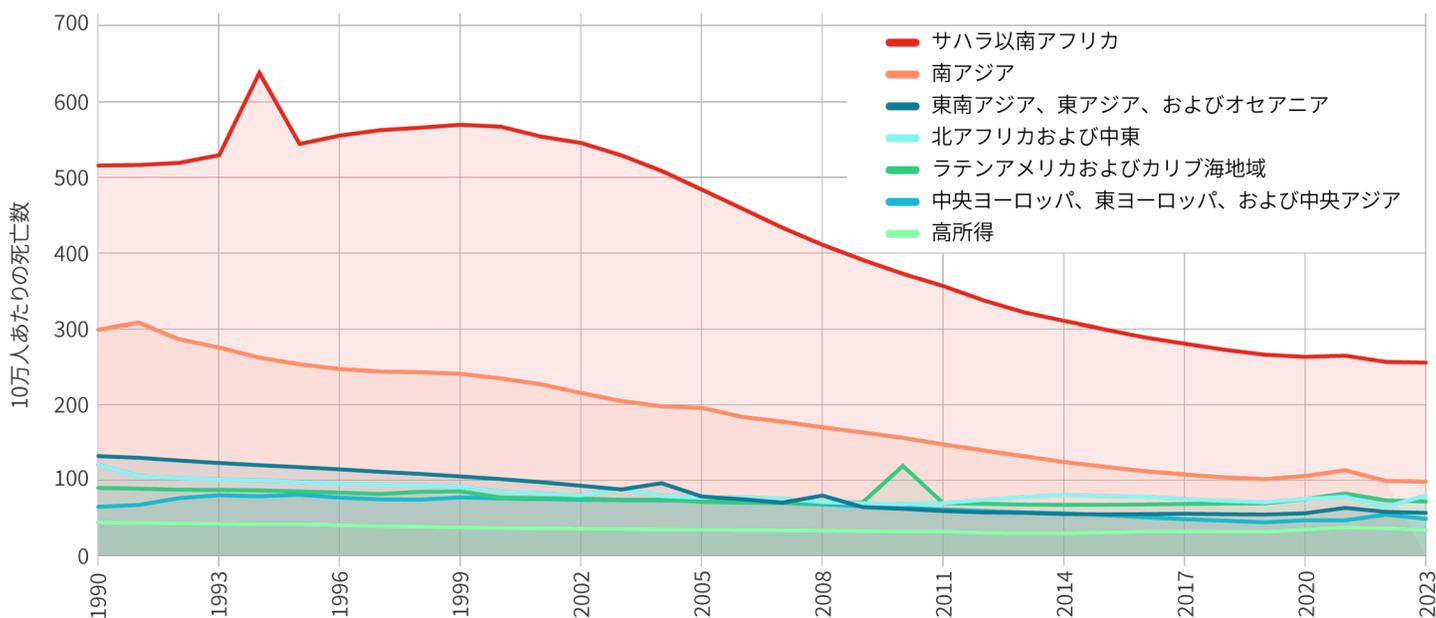
注：GBDで高所得北米地域に含まれるグリーンランドは、可読性向上のためにこのグラフからは除外されています。グリーンランドの推定値については、<https://vizhub.healthdata.org/gbd-compare>をご覧ください。

### 東ヨーロッパ諸国、米国、およびカナダにおける15～24歳の死亡率（10万人あたりの死亡数）（1990～2023年）



新たなデータおよび方法により、サハラ以南アフリカの少女および女性（15～29歳）の死亡率は、過去の報告より61%高いことが示されました。

### GBD地域における15～29歳の女性の死亡率（10万人当たりの死亡数）



# 世界における感染症対策は急速な前進を遂げたものの、糖尿病、精神疾患、および肥満／過体重の問題が深刻化

## ハイライト

2013年から2023年において、糖尿病および不安・抑うつ障害による健康年数の損失が急激に増加しました。

特に高血圧、大気汚染（微粒子）、喫煙、高血糖、および高BMI（肥満／過体重）といったリスク要因に取り組むことで、毎年世界で失われている健康年数を半減できる可能性があります。

感染症による早期死亡および健康損失は劇的に減少し、新生児の健康も向上したものの、新生児の障害は、依然として世界における健康損失の第2位の要因です。

## 本研究の新たな特徴

疾病および傷害による負担については120,000以上のデータソース、リスク要因については59,000以上のデータソースを分析しました。

新たに次の5つの要因を追加しました：潰瘍性大腸炎、クローン病、甲状腺疾患、その他の内分泌・代謝・血液・免疫疾患、および感電。

特に小児期の性的虐待、配偶者やパートナーによる暴力、および鉛曝露に関して、より優れた方法が使用されました。

世界における早期死亡および障害の上位10要因のうち、半数は非伝染性疾患です。

### 世界における早期死亡および健康損失の主な要因（2023年）<sup>1</sup>

2023年順位

1 虚血性心疾患
2 新生児障害
3 脳卒中
4 下気道感染症
5 糖尿病
6 交通事故
7 慢性閉塞性肺疾患
8 転倒
9 腰痛
10 下痢性疾患

■ 非伝染性疾患

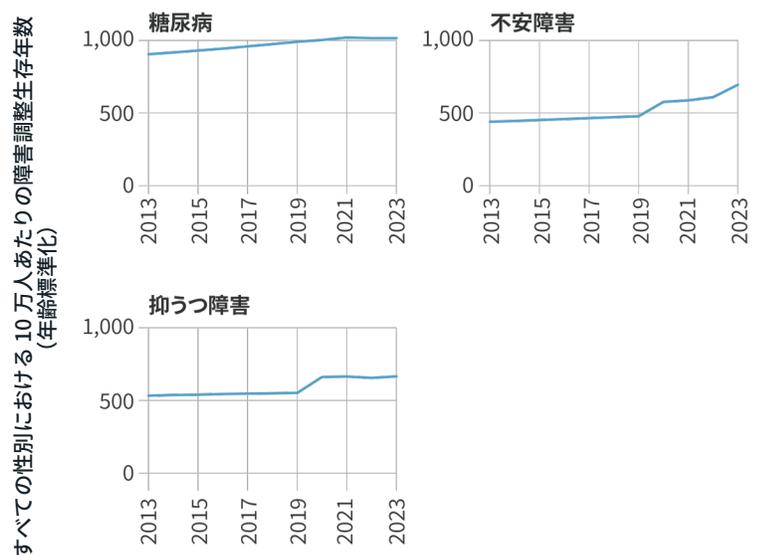
■ 伝染性疾患、新生児疾患、および栄養疾患

■ 傷害

<sup>1</sup> すべての性別および年齢における、GBD 階層レベル3の主要原因の障害調整生存年数（2023年）。

非伝染性疾患のうち、最も急速に増加している要因には糖尿病および抑うつ・不安障害が含まれます<sup>2</sup>。

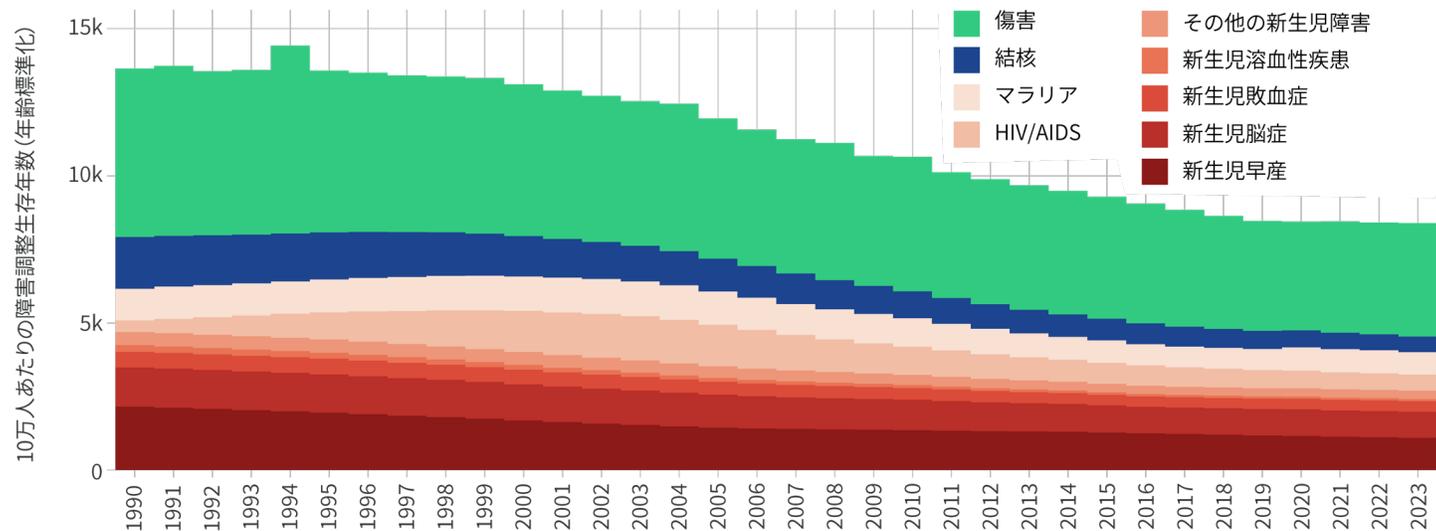
### 糖尿病、不安障害、抑うつ障害により失われた健康年数（年齢調整）（2013～2023年）



<sup>2</sup> すべての性別における、障害調整生存年数の増加量による評価（年齢標準化）（2013～2023年）。

多くの感染性疾患や傷害の大幅な減少と、新生児の健康向上では著しい進歩が遂げられている一方で、保健分野への開発援助削減が、こうした成功を危うくしています<sup>3,4</sup>。

### 傷害、結核、マラリア、HIV/AIDS、新生児の障害により失われた健康年数（年齢調整）（1990～2023年）

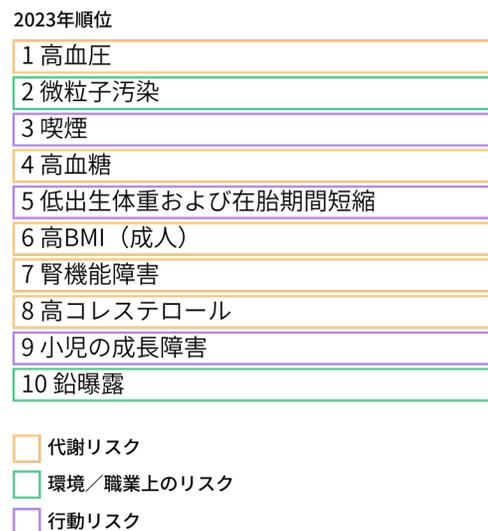


<sup>3</sup> すべての性別における、障害調整生存年数（年齢標準化）の減少量による評価

<sup>4</sup> 詳細はこちらを参照のこと：Financing Global Health 2025: <https://www.healthdata.org/research-analysis/library/financing-global-health-2025-cuts-aid-and-future-outlook>

高血圧、大気汚染（微粒子）、および喫煙は、世界における早期死亡および障害の3大リスク要因です。

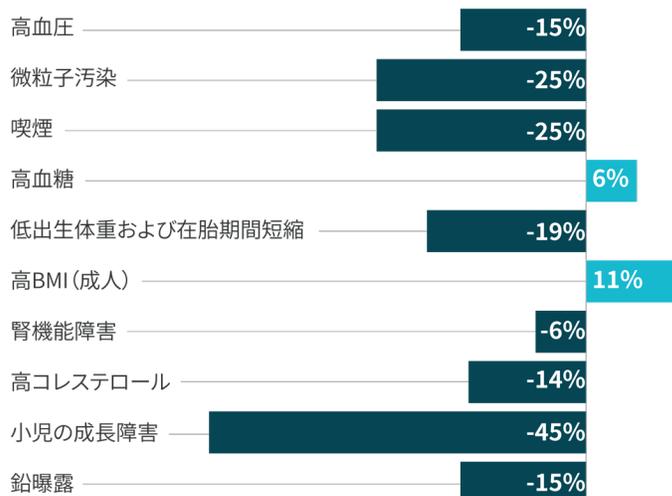
### 世界における早期死亡および健康損失の主なリスク要因（2023年）<sup>5</sup>



<sup>5</sup> 順位は、すべての年齢および性別における、GBD 階層レベル3の主要リスク要因に起因する障害調整生存年数の合計に対する割合（%）を反映しています。

高血糖および高BMIによる健康損失は増加していますが、その他の多くのリスク要因については減少がみられます。

### 世界における10大リスク要因に起因する早期死亡および障害の変化（2010～2023年）<sup>6</sup>



すべての性別における、リスク要因に起因する障害調整生存年数（年齢標準化）の変化率

<sup>6</sup> 順位は、すべての年齢および性別における、GBD 階層レベル3の主要リスク要因に起因する障害調整生存年数の合計に対する割合（%）を反映しています。



# 2023 年 GBD 研究のリソース

## 本研究に関する情報

<https://www.healthdata.org/research-analysis/gbd>

## Global Health Data Exchange (GHDx)

<https://ghdx.healthdata.org/gbd-2023>

## インタラクティブなデータ可視化

GBD Compare  
(GBD 比較)

<http://vizhub.healthdata.org/gbd-compare>

GBD Cancer Compare  
(GBD がんデータ比較)

<http://vizhub.healthdata.org/gbd-compare/cancer>

GBD 結果ツール

<https://vizhub.healthdata.org/gbd-results>

**(新規!)** GBD Sex Differences  
(GBD 性差比較)

<http://vizhub.healthdata.org/gbd-compare/sex-differences>

Burden of Proof

<https://vizhub.healthdata.org/burden-of-proof>

Country- and subnational-level profiles  
(国・地方別プロファイル)

<https://www.healthdata.org/research-analysis/health-by-location/profiles>

## 情報源

<https://ghdx.healthdata.org/gbd-2023/sources>

トレーニングおよび  
ワークショップ

<https://www.healthdata.org/research-analysis/training>

協力者ネットワーク

<https://www.healthdata.org/research-analysis/gbd/collaborator-network>

ポッドキャスト

<https://www.healthdata.org/news-events/podcasts>

動画

<https://www.healthdata.org/news-events/videos>

## ソーシャルメディアおよびメールアドレス

 [LinkedIn](#)

 [Facebook](#)

 [X](#)

 [Youtube](#)

[ihme@healthdata.org](mailto:ihme@healthdata.org)



IHME



UNIVERSITY of WASHINGTON

研究結果および他の GBD データのダウンロード:

<http://ghdx.healthdata.org/gbd-2023>